



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 11. 26

3, 4年生用 No.62

## 時間は作るもの



売れっ子作家等が次から次へと新しい作品を発表し、どうしてこんなにも新しい作品を生み出せるのか感心することがあります。人間に与えられた時間は皆平等なのにどうしてこんなにも生産的の生活が出来るのでしょうか。能力の差と言えばそれまでですが、このように活躍している人は**時間の使い方がうまい**と思います。

多くの人間はとかく楽な方に流されがちです。面倒だから、疲れたから、気が乗らないから・・・等々と言いつつ言い訳を作り、その場から逃げようとしてしまいます。しかし生産的の生活が出来る人達はそんな自分の気持ちを律して、自分に厳しいのでしょう。もとよりこのように多忙を極め活躍している人のまねは誰でもが出来ることではありませんが、いつも**自分の気の向くままに安易な方向に流されているだけでは何も出来ない**でしょう。やるべき時には集中して自ら時間を有効に使う心がけが必要です。時間は自ら作るものです。ぼけっと過ごす無駄な時間を少なくし、自ら有効に使うよう心がければ有益な時間を生み出すことが出来るでしょう。

人生は長いようで、あっという間に過ぎていきます。皆さんはいつまでも**時間は無限にあるように思わずに、限られた時間いかに集中し、有益な時間を作るかを心がけて欲しい**ものです。



## デフレとはどんなこと

現在日本の経済はデフレが原因で深刻な不況に陥いていると言われていますが、デフレとはどんなことか知っていますか。

**デフレとはものの値段が下がる現象です。**ものの値段が下がれば消費者にとってはいいように思うかもしれませんが、メーカーや小売店はそれだけ利益が少なくなってしまいます。利益を確保する為には人件費を安くしたり、仕入れ価格等を下げなくてははいけません。その結果企業で働く人の給料は下がり、新規採用者も控えるようになります。現在の就職難はここに原因しているのです。収入が減少すればものを買おうとしなくなります。そうなればものは益々売れなくなります。つまり**ものが売れない→値段を下げる→企業が儲からない→給料が下がる→買い控える→ものが売れない**という悪循環が生じてしまうのです。

このデフレを克服する為には市場にお金が出回るようにすることが必要です。そこで政府は減税しものを買やすくします。日銀は預金利率を下げるにより、預金するより出来るだけお金を使ってもらおうようにします。ところが日本人は将来への不安から、ものを買わなくなってしまい、政府の意図がなかなか反映せず、いっこうに景気が回復していきません。

デフレの反対はインフレです。かつて日本もインフレに苦しみました。**インフレになると給料はどんどん上がっていきます。同時にものの値段も上がっていきます。**そうすると今まで例えば1万円で買えたものが、1.5万円払わないと買えないというように、**お金の価値が下がっていきま**います。デフレもインフレもどちらになっても困りますが、**インフレは好景気の時に、デフレは不景気の時に起きる現象**です。皆さんも今後の経済の動きがどうなっていくのかに関心をもつことが大切でしょう。

